

製品名: CD210 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82720**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:25-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	CD210
別名	IL10RA; IL10R; CD210a; CDW210A; HIL-10R; IL-10R1
遺伝子 ID	3587.0
SwissProt ID	Q13651
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD210 (AA: extra 22-235) の精製された組み換え断片。

背景

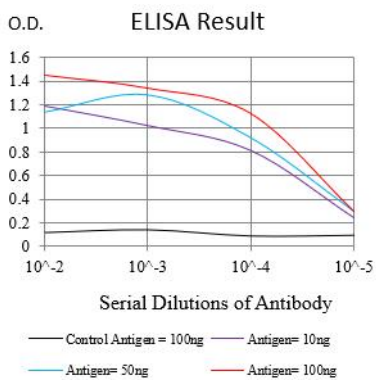
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 10 の受容体です。このタンパク質は構造的にインターフェロン受容体と関連しています。インターロイキン 10 の免疫抑制シグナルを媒介し、炎症性サイトカインの合成を阻害することが示されています。

ます。この受容体は、インスリン受容体基質 2/PI3 キナーゼ/AKT 経路を介して骨髄系前駆細胞の生存を促進することが報告されています。この受容体の活性化は、JAK1 および TYK2 キナーゼのチロシンリン酸化を引き起こします。この遺伝子には、タンパク質をコードするものとタンパク質をコードしないものの2つの転写バリエーションが見つっています。

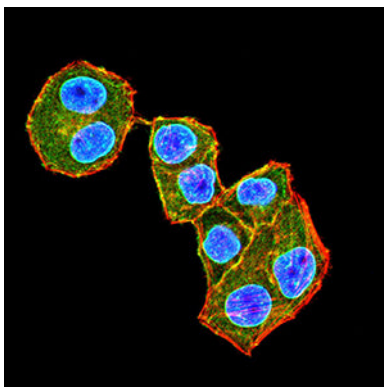
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

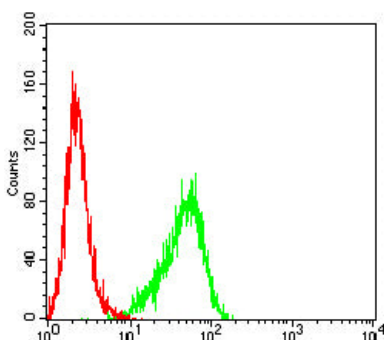
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD210 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD210 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。